

災害被災地ボランティア 3日目

最終日の本日も被災現場でのボランティア活動を行いました。この日の作業は道路の清掃活動がメインとなりました。西日本豪雨から約1ヵ月経過した今でも、氾濫した川から流入した土砂が道路に残っています。また被災ごみが道路に山積みになっており、収集したあとのガラス片や細かいゴミをかき集める作業をこまめな休憩をはさみながら行いました。

作業自体は力作業や比較的危険な場所での活動ではありませんでしたが、暑さや砂埃が舞うといった環境で思うように作業は進まず、約2時間かけて200メートルほど清掃するのが精一杯でした。少しでも被災された方々に、生活しやすい環境を届けることができるよう微力ながら協力させていただきました。



左：清掃作業中の様子① 中：清掃作業中の様子② 右：道路には今もこれだけの被災ごみが

この3日間、日頃の生活からは想像もできないような光景を目の当たりにし実際に触れることで、まだまだ被災地の復興には時間がかかることを知りました。また、被災された方やボランティアスタッフの方々、岡山に住む桃山の卒業生など様々な方から、当時の様子や現状などを聞く機会もいただきました。参加した生徒たちは、ボランティアの必要性を大きく感じてくれたことと思います。

